

◇全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二一

八月五日（木）、

『全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二一』が開催された。パンデミック後の《平和》を願うというテーマで開催し本年も昨年が続いて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模を縮小して開催。

また、自宅でも視聴してもらおうとYouTubeライブ配信も行い、第一部「全戦没者追悼法要」、第二部「平和を願うつどい」が当日来場者約三十名及びYouTubeライブ配信では八十回余りの視聴があった。第一部では森尾淳章教務所長の調声のもと、礼拝堂にて参加された方々全員が正信偈のお勤め中に焼香をされた。

第二部では、「パンデミック後の《平和》と宗教の役割」というテーマで上智大学グリーンフケア研究所所長の島菌進さんの講演をオンラインにて行った。島菌さ



んは、新型コロナウイルスの感染拡大により諸外国で医療崩壊が起き、入院ができなくなり自宅療養が増えていると言われた。

日本でも同じく災害や事故の現場で行われているトリ

アージ（傷病者を選別）が病院内で行われ、高齢者への人工呼吸器装着の断念を暗に迫られたり、適切な医療が受けられない状態になっていると言われた。また、新型コロナウイルスは人口が集中する大都市で感染が拡大し、感染症対策の面でも都市の脆弱さを浮き彫りにしたと言い、日本でも都市開発について立ち止まって考え直す時期に来ているのではないかと指摘した。

そして社会的、民族的な出自、宗教に関わらず全ての人が無条件に歓迎されるドイツのホスピスを



紹介し、コロナパンデミック下においてケアの意義が高く評価される機会となったことや、ケアの仕事や活動はすべてのいのちを受け入れ、支える姿勢を倫理的基盤に持っていることが多いと言われた。そしてコロナ後の新しい世界ではケアの重要性を示し、互いに支えあう社会に向かって行くべきとまとめられた。参加された方から、「危機の中でこそ政治家だけでなく宗教者の姿勢が問われる」「弱い立場の人にも目を向けられる優しい社会でない日本。将来があぶない」「講演内容も良好でオンラインも良かった。今後
も開催してほしい」という声があった。

※全戦没者を悼み平和を願うつどい二〇二二の模様は九月末日まで、YouTube 内にて配信致しております。『浄土真宗本願寺派高岡教区教務所』と検索しご視聴ください。

★新型コロナウイルス感染症の感染拡大による

教区行事延期のお知らせ

さて、昨今の報道でご承知の通り、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が富山県内においても深刻化しております。従来よりも強力な感染力を持つデルタ株による感染が急拡大し、病床も逼迫している昨今の状況を鑑み、左記行事の開催を延期とさせていただきます。

延期後の日程につきましては後日再調整の上、改めてご案内させていただきます。予定です。

☆お知らせ☆

高岡教務所では今年度もカレンダーの注文を受け承ります。お電話で注文頂ければご寺院宛に配達を致します。

※担当の北鹿渡までご連絡ください。

○法語カレンダー 150 円

○ほのぼのカレンダー 150 円

○月々のことば 700 円

○心に響くことば 120 円

以上

一. 延期が決定した研修会等

① 僧研スタッフ事前研修会（八月二十六日）

② 仏婦・寺女合同実践運動研修会（八月二十七日）

③ ビハーラ研修会（九月一日）

④ 布教団実践運動研修会（九月二日）

⑤ 第一回僧侶研修会（九月十三日）

⑥ 第二回僧侶研修会（九月二十四日）

⑦ 第三回僧侶研修会（九月二十五日）

⑧ 中央教修修了者のつどい（十月二日）

二. その他

その他の行事につきましては高岡教区教務所（電話〇七六六二二二・〇八八七）までお問い合わせください。

◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

— 新型コロナウイルス感染症下の寺院活動 —

新型コロナウイルス感染症が引き続き猛威を振るっており、従来のウイルスよりも感染力の強いデルタ株の出現もあり、新規感染者数は八月中旬から下旬にかけて全国で過去最高記録を連日のように更新しております。特に毎日何千人単位の新規感染者数を出している都市部やその近郊では医療体制のひっ迫が叫ばれ、入院が必要な症状であっても受け入れ先が見つからずに自宅療養を余儀なくされているケースも多数報告され、東京では事実上の医療崩壊状態にあるとの指摘がなされるほどの厳しい状況にあります。九月に入り新規感染者数は全国的に減少傾向にあります、まだまだ予断を許さない状況です。

この感染拡大によって教区の僧侶研修会（全三回）、布教団実践運動研修会、ビハーク研修会などの諸行事も延期とせざるを得ませんでした。

また、教区行事だけでなく、今後の組活動や寺院活動や各組の教化団体にも大きな影響を与える可能性があります。ワクチン接種が進む九月以降から活動を本格化する予定であった組や教化団体には大きな打撃となることが予想され、折しも寺院報恩講の時期を迎えようとしており、各寺院のご住職方は頭を悩ませていることと思われれます。

今年五月に新型コロナウイルス感染症が寺院活動に与えた影響について調査し、今後の教区活動の立案に資するために教区内全寺院を対象に「新型コロナウイルス感染症の流行に伴う寺院活動に関するアンケート」という調査を実施いたしました。組長事務所を通じて各寺院にご依頼し、二百八十八カ寺中、八十四%に当たる二百四十二カ寺から回答をいただきました。そのアンケート中の昨年度の報恩講に関する設問では、「中止」という回答が三十カ寺で約十二%、「変更・短縮」が百八十二カ寺で約七十六%、「例年通り」との回答は二十二カ寺で約九%、無回答が七カ寺で

約三%と、実に回答の七十五・五%が「変更・短縮」と回答されました。また、「変更・短縮」の内容についての設問では（複数回答可）お斎の中止・変更（持ち帰りなど）が最多で百五十七カ寺で約八十六%、次いで「座数の減少」が百二十七カ寺で約七〇%、「自坊つとめ」が五十九カ寺で約三十二%、「寺院招待（参りかい）」を減らした」が五十七カ寺で約三十一%、「勤行のみ」が二十四カ寺で約十三%でした。昨年の九月中旬から十二月中旬までは富山県内においてはほとんど感染者が出ていない状況でしたが、多くの寺院では感染対策を念頭に、様々な変更や対応をしながら手探りの中で報恩講をお勤めしていたことが読み取れます。

さて、「報恩講や祠堂経などの延期・中止・日程変更の際はどのような手続きで行いましたか」という設問では「総代会や役員会との合議・相談の上で決定した」との回答は三〇%に満たず、「住職が決定し、総代に了解を取った」が約四十二%、「総代に了解を取らずに住職が決定した」が約二〇%と実に六割強が「住職のみで決定した」と回答されています。大事な行事であっても総代や役員に相談せずに住職が決めるという傾向が見て取れます。もちろん寺院における最終的な責任者は住職であり、また各寺の事情も考えられますのでやむを得ない面もあります。しかし、「知らないうちに中止が決まっていた」「延期・中止を一方的に伝えられたが何を基準にどこで決まったのか」と門信徒や総代の方からの声が寄せられていることも事実です。これは寺院活動だけでなく組活動に対しても門信徒から同様の声があります。意思決定と意思疎通のあり方は検討していかねばならない課題といえます。

今年も昨年よりも厳しい状況の中で報恩講の時期を迎えようとしています。これまでのように集まって行事をし、交流を深めるといったことが中々難しい状況ですが、だからこそ門信徒や総代・世話役との相談や、意思疎通をどのように図っていくかということが何より重要となってくるのではないのでしょうか。

【高岡教区主幹 岡西好持】

◇これからの日程（9/13～10/23）◇

9月	教区・財団行事	教化団体・組行事
13	僧侶研修会（延期）	
14	常例法座	
16		北同推研修講習会（富山） （延期）
18	千鳥ヶ淵全戦没者法要 （宗派による web 配信） ※教区行事なし	
24	僧侶研修会（延期）	
25	僧侶研修会（延期）	
27	公聴会（DVD 放映）	
30		教誨師研修会（web）
10月		
1		連区総代会（web）
8		講社役員会 仏婦執行部会
14	常例法座	
23		全国真宗青年の集い （web）

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・738kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前5:35～5:45

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎10/2（土）：野瀬 善隆氏

（親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要

中央法要事務所教化本部本部長）

「2023 年慶讃法要について」

◎10/9（土）：原田 光生氏

（親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要

中央法要事務所総務本部長）

「2023 年慶讃法要について」

□10/10（日）：未 定

（高岡教区）

◎10/16（土）：玉井 昭英氏

（親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要

中央法要事務所法要庶務本部長）

「2023 年慶讃法要について」

◎10/23（土）：玉井 昭英氏

（親鸞聖人御誕生 850 年・立教開宗 800 年慶讃法要

中央法要事務所法要庶務本部長）

「2023 年慶讃法要について」

□10/24（日）：未 定

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかが
でしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下
さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（170袋）10,000円

・1組（10袋）600円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内
（寺族青年会担当）

Tel. (050) 5587-7708(代表)

Fax. (0766) 21-5152

【西本願寺高岡会館10月の常例法座】

ご講師：圓山望師

（氷見組法順寺住職）

ご講題：『十一もと帰命』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時
からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞ
お誘いあわせてお参りください。